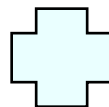


鹿屋体育大学“機関リポジトリ”について

学術機関リポジトリ

：自由に利用できる研究成果

従来の情報発信
＝個々の研究発表等による
関係研究者にほぼ限られた伝播



全学での機関として、
情報発信への取り組み

学術機関
リポジトリ

電子的形態で
収集・保存・発信

学術機関リポジトリの特徴

機関(大学)の責任において設置・運用

紀要、概要同様、大学としての
公開の意思が重要

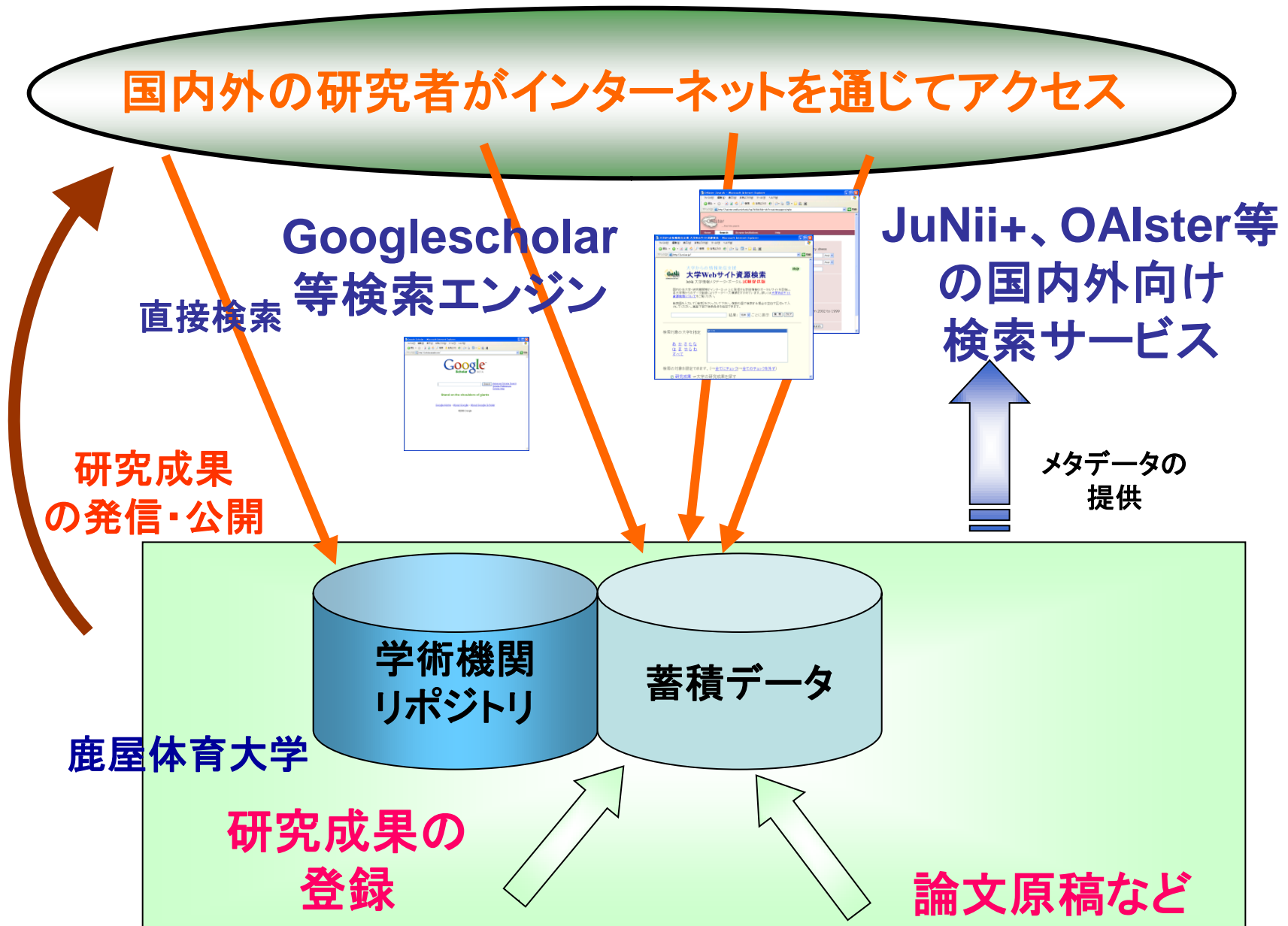
○機関が存続する限り、保存、公開およびアクセスを保証する

(原則として)機関(大学)内で作成された
文書類を電子的な形態で収集し、保存する

図書館的機能が有効

- 教育研究成果の収集、組織化
- メタデータ(検索用キーワードや概要など)付与
- 電子データの保存、公開などの運用

イメージ



機関リポジトリの検討にあたって

○運用方針、学内の運用体制の構築が必要。

○当初の登録データ

大学紀要の電子化ファイルをすでに公開中。

この紀要論文を手始めとしてリポジトリ登録論文拡大へ。

* 紀要に関しては、投稿規程にて公開許諾済

本学の様々な研究成果コンテンツ！！

外国語教育センター

言語と文化
newsletter

生涯スポーツ
実践センター

研究報告
受託研究

海洋スポーツセン
ター

ウォータースポーツに関する
文献情報
テキスト、海洋スポーツ研究
写真館

スポーツ情報センター

ビデオライブラリ

E-learning WebClass 教材

紀要論文

講義教材

スポーツトレーニング
教育研究センター

研究報告書第1巻～7巻

TASSプロジェクト

研究報告
* TASS=Top Athlete
Support System

科研費研究
報告書

受託研究
報告書

公開講座

講習会教材

PALSプロジェクト

研究報告
* PALS=Promotion
of Active Life Style

e-TPIプログラム

NIFSスポーツクラブ

日本生涯スポーツ学会

学外スポーツ指導実習データベース

SCO-OPプログラム